

センターだより

第9号

平成28(2016)年2月12日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

平成27年度 吹田市立教育センター 教育研究報告会御礼

平成28年1月27日(水)に吹田市文化会館メイシアター小ホールと集会室において「教育センター 教育研究報告会」を実施しました。午前中は保護者の方を対象に吹田市立教育センター 竹内道子相談員より『「子どもの心を探る」～子どものサインに気づく～』と題して講演を行い、133名のご参加をいただきました。

また午後の教育研究報告会では、研究委嘱学校園や小学校教育研究会の取組、そして教育センターの研究グループなど合計19団体からそれぞれ研究成果を発表いただきました。

各校においてはお忙しい中、幼稚園から27名、小学校から162名、中学校から82名の参加をいただきました。総数では、教育委員を含め276名の参加がありました。

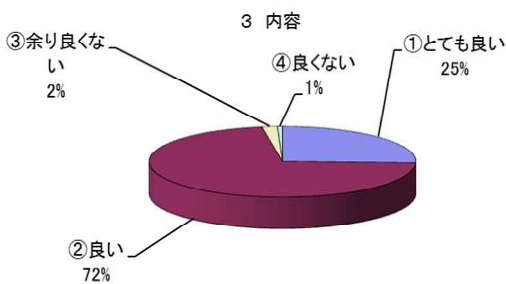
また発表いただきました各団体には、発表の準備や資料の作成などにご協力いただきありがとうございました。

この報告会で発表いただきました研究成果をご参加いただいた教職員を中心にそれぞれの学校園で共有して、未来の吹田の教育に反映していくために、各学校園の研究課題に応じた実践に活かさせていただきますようお願いします。



〈教育研究報告会アンケートより〉

★本日の報告会の内容はどうでしたか



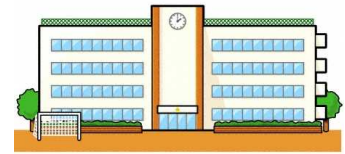
★今日の報告会の学び・感想等

・ICTを利用する先生が、年々増えていて、また生徒への効果があることを知り、自分も積極的に取り入れていくべきだと思った。



- ・幼稚園から中学校の先生までのお話を聞いて、幼稚園での運動遊びや製作、畑などの栽培などが、小・中での体育や食育につながっているんだなと感じました。
- ・カリキュラム作りの課程を考えることで、その教科の指導する際のポイントが見えたのでよかった。
- ・「書く」教育実践の一例として、原稿用紙は大変参考になりました。早速努力目標委員会で提案してみようと思いました。
- ・参加者だけでなく、吹田市の全教職員に伝わればいいなと感じました。
- ・系統をしっかりと考え、今日の資料を参考にして、学校独自のカリキュラムをつくっていかなければならないと痛感した。

「若手教職員に今、伝えたい！」 吹田のスーパーティーチャーの実践・技」⑦



吹田市のスーパーティーチャーである指導教諭の先生方の実践紹介です。センターだよりにおける指導教諭特集は平成21年度から始まり、今回で7回目になります。今年度から新たに指導教諭になられた3名の先生方を紹介します。

平成27年度 吹田市の指導教諭

勤務校	名前	教科・領域	勤務校	名前	教科・領域
吹田東小学校	小木 小百合★	学校保健	南千里中学校	神崎 由紀	英語教育
千里新田小学校	三木 信次	学級経営	南千里中学校	坪倉 光恵★	学校保健
佐井寺小学校	贅 宏恵★	学校保健	豊津中学校	山口 正剛	特別支援教育
豊津第二小学校	瀬崎 浩美★	学校保健	西山田中学校	伊藤 直美	国際理解教育
片山小学校	有森 清美	算数教育	山田東中学校	吉田 昌司	国際理解教育
片山小学校	川中 秀夫	体育教育	高野台中学校	池田 ゆう子	英語教育
山田第一小学校	齋藤 禎	図工教育	青山台中学校	野本 玲子	(長期自主研修中)
北山田小学校	石丸 弘美	図工教育	竹見台中学校	平岡 弘子	国語教育
佐竹台小学校	山本 圭司	特別活動	竹見台中学校	藤田 幸	英語教育
津雲台小学校	井上 良太	体育教育	竹見台中学校	池田 愛	国際理解教育
桃山台小学校	有岡 葉子	児童生徒理解	古江台中学校	永田 和浩	理科教育
千里たけみ小学校	川向 博子	特別支援教育			

※指導養護教諭は名前の後に★

西山田中学校 伊藤 直美先生【国際理解教育】

こんな素敵なお先生です！

大学でベトナム語を専攻されていた伊藤先生は、「生徒たちに英語圏以外の国々にも興味を持って欲しい。」と考えておられます。

15年前、ドキドキワールドを通じてインドの方と交流を行い、インドで地震が起きた際には、復興を願い生徒会で募金活動が行われたそうです。その活動は中学校に留まらず、近隣の小学校や保育園、保護者にも広がり、新聞でも取り上げられることとなりました。

趣味は「手紙を書くこと。」JICAの教師海外研修や吹田市教職員元気アッププラン、独立行政法人教員研修センターの海外派遣プログラムを通して出会ったタンザニア、韓国、オーストラリア、オーストラリアやインドの先生たちへの手紙を、休みの日であれば1日中書いていることもあるそうです。

また、西山田中学校の生徒たちにも海外の生徒たちとの文通を推奨しておられ、平成23年4月には、生徒同士の文通がきっかけとなり、オーストラリアの Model Farms High School の生徒たちが、西山田中学校を訪れました。遠く離れた外国の文通相手と感動の対面を果たした生徒たちの喜びようは、言葉では言い表せないほど大きいものだったということです。

「英語は勉強ではなく、コミュニケーションのツール。」「海外の人たちとの交流を通して、机上の勉強だけでは感じられない自分と世界とのつながりを感じ取ってもらいたい。」と、生徒たちにとって、日々の国際交流が、英語を学習する際の興味やモチベーションの源となるように願っていることを語ってくださいました。



若手教職員に、今、伝えたい！



若手教職員の方々に、私から伝えたいことが2つあります。まず1つ目は、「子どもたちの話を聞いてあげること」です。子どもにかぎらず大人でもそうですが、人は、相手に話を聞いてもらえるだけで安心します。子どもたちの話をよく聞き、「安心感」を与え続けると、それはいつしか「信頼感」へと変わっていきます。「信頼感」が生まれると、「この先生のアドバイスを聞いてみようかな。」「この先生の授業に、がんばって取り組もうかな。」という気持ちになります。ですから、まずスタートは「子どもの話をよく聞くこと」だと思います。

2つ目は、「先輩の先生方の授業を見に行かせてもらったり、先輩の先生方からのお話を聞く」ことです。教職員としての経験がまだ浅いうちは、たくさん、よい見本を見て、その中で、自分に合ったものを吸収していくことが大切です。また、子どもたちや、保護者への対応など、どのようにしたらよいか困った時には、先輩方に迷わず、相談してみてください。

それから、若いうちは、先輩方から「こうした方がいいよ。」というアドバイスを受けることも多いかと思いますが、その時は、ぜひ素直な気持ちで耳を傾けてください。私自身も、若い頃に先輩方からいただいたアドバイスを十数年経ってから思い返し、「ああ、そういうことだったんだなあ。」とあらためて納得させられた経験が何度もあります。最後に、「時間は工夫して作り出すもの」です。忙しい毎日だと思いますが、子どもたちの笑顔を励みに、がんばってください。

南千里中学校 坪倉 光恵先生【学校保健】

こんな素敵なお先生です！

坪倉先生は、吹田市の中学校一筋で勤務されている経験豊富な先生です。

そんな坪倉先生が、養護教諭を目指されたきっかけは、中学校時代のある先生との出会いでした。その先生は、新任の女性養護教諭で、養護教諭としての普段の業務をこなす以外に、保健科の授業も担当し、教科指導にも積極的にかかわっていました。また、その先生は、坪倉先生が所属していた剣道部の顧問でした。とても面倒見のよい先生で、部員たちにとってかけがえのない身近な存在だったそうです。

特に、剣道の試合の帰りなどに先生の自宅によんで頂いたことが深く印象に残っていると話されていました。笑い話から、部員が日頃から抱えている悩みの話まで、様々な相談にのってくれたそんな先生に惹かれ、坪倉先生は養護教諭になろうと決意されたそうです。

晴れて吹田の養護教諭となった今でも、その気持ちを忘れず、保健室を訪れる生徒一人ひとりと向き合い、子どもたちの成長を支援されています。



若手教職員に、今、伝えたい！



転勤したばかりのある学校で、何度も授業中に来室する生徒に対して生活習慣などの指導をした時、「先生は親に育ててもらったんやろ。だったら、おれの気持ちはわからへん。」そして、続けてこうも言われました「でも、先生も大変やな。転勤したばかりで、他の先生ともうまくやらなあかんし・・・。」生徒を一方向からしか見ていなかったことを痛感した瞬間でした。見かけの言動だけで判断せずにその背景にあるものにも思いをめぐらせ、その上で養護教諭として寄り添うことができないかとアプローチを試みるのが大切です。

子どもに直接言葉がけができ、自由に使える場所【保健室】を任されているのが養護教諭です。私の目指している保健室は、学校で一番消極的な生徒でも必要な時にいつでも来室できる場所です。保健室が安心な場所であるためには、そこに居る養護教諭が安心な場所を保障する必要があります。日ごろからできるだけ正しい言葉を使って対応し、話を真剣に聴く態度を示すことで、「保健室は安心できる場所」と「信頼できる養護教諭」と認められるように努めたいと思っています。



高野台中学校 池田 ゆう子先生【英語教育】

こんな素敵なお先生です！

下記にある初任の頃のお姿は、とても想像できません。なぜなら、池田先生が教室に一步足を踏み入れると、チャイムはまだ鳴っていないにも関わらず、生徒たちは途端に席へ着くからです。これは何も、恐れられているからではありません。池田先生が登場すると、自然と教室全体に、授業が始まる空気が出来上がるのです。なぜでしょうか？

「愛とセンスとタイミング」

池田先生には、今年度「中学校初任者研修～先輩授業に学ぶ授業づくり～」において、示範授業・指導助言の講師としてご活躍いただきました。

授業を通して感じたことは、生徒たちがとても授業を楽しみにしている、楽しんでいるということです。そこに学ぶ意欲があるから、自然と学力も身につきます。教師として大事にしていることは、「愛とセンスとタイミング」と話されていました。そして、「今ある授業は、全て生徒の反応から教えてもらい、学んできたものだ。」と話されていました。

教室に生まれるあの空気感。それは、「1年目の池田先生」があっただけなのでしょう。そして、常に自分の授業を振り返り、磨き上げてきたからこそなのだと感じました。そんな池田先生の楽しみは、ケーブルTVのオーディション番組を見ることです。審査員の辛辣な批評に大笑いをしつつ、その“人を見る目”は確かで、とても勉強になっているそうです。ちなみに、「one direction」が発掘されたオーディション番組です。



若手教職員に、今、伝えたい！



「私の1年目」

教室に向かう足取りは重く、廊下で先輩に、「背中に嫌って書いてあるぞ。」と言われたことがあった。

教室では、元気に強く明るくふるまっていたが、授業は私語が多く、惨憺たるものだった。日々戦っている気持ちだった。当時の私は、一人でも「ありがとう。わかった。」と言ってくれば嬉しかったものだ。自分にできることを精一杯頑張ればよい、何か一つできればよい、という思いでやる気をつないでいた。

しかし、半年過ぎて、あまりにもしんどすぎたので、一からやりなおそうと思った。まず、開始の起立・礼から完璧にやることにした。また、集中力を切らせないために、無駄のない授業の流れを考えた。内容を準備するだけでなく、生徒の動きを予測して、内容と指示するタイミングや順番を考え、メモをチョークケースに貼った。生徒の反応が授業の命だ。

教師という仕事は、いきなり一人前扱いだ。自分で考えて、自分で勝負する。その責任と喜びを感じたい。十分に準備して、授業に臨みたい。一生懸命準備すれば、執念と迫力が出る。生徒にその思いが伝わるのだ。生徒の声、顔から何かを見出し、先輩の仕事ぶりから何かを盗み、成長していきたいものだ。方法の真似だけではダメだ。そこにある“思い”に共感しなければ、自分のものにはならないからだ。

管理職(教頭)研修報告 大阪教育大学附属池田小学校「学校危機管理体制について学

2月5日(金)定例教頭指導連絡会の日の午後に教頭研修会を行いました。この日は大阪教育大学附属池田小学校を訪問しての施設見学でした。附属池田小学校といえば平成13年6月8日に8名の尊い子ども達の命が奪われたという、我々教職員にとって忘れることができない悲しい事件の起きた学校です。学校に着いて若干の説明をいただいた後、「安全」の授業を参観しました。

ちょうど5年生が3.11東日本大震災を題材に学習しており、普段の部屋の中で地震が起きた際に危険となりうる物を考えるという内容でした。

その後、実際の不審者対応訓練の様子を記録したビデオを視聴し、事件当時も教諭として勤務されていた眞田副校長から詳細に当日の出来事や教職員の動き等についての話をお聞きしました。生々しい事実の一つひとつに思わず息を呑む思いでした。

また、その後、様々な安全対策がなされた学校内を見学させていただきました。当時の事件を伝える「祈りと誓いの塔」も、事件現場であった教室を改装した「ふれあいギャラリー」も、厳粛な中にも明るい雰囲気のある場所になっており、多くの子ども達が集うにぎやかなスペースになっていました。

忘れられないのは、「児童の命を守るのは設備ではなく教職員の安全意識である」という言葉です。

その言葉どおり、年5回行われる不審者対応訓練は、想定から事後の反省まで訓練とは思えない緻密さで行われていました。

その様子をまとめたDVDを各校一枚ずついただいていますので、ぜひ多くの教職員で視聴して不審者対応訓練等に生かしてください。



2月の教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
キャリアアップ研修	73	「首席としての在り方を探究する」 講師 C's G Mission コミュニケーショントレーナー 瀬戸口 千佳 さん	教育センター 研修室 (2階)	2月16日(火) 15:30~17:00	首席
	58	「ステップアップ I・II 中学校代表研究授業」 教科・単元 国語科 2年「学ぶ力」 授業者 豊津中学校 教諭 大森 なぎさ 助言者 豊津中学校 教頭 山野 正	豊津中学校	2月16日(火) 14:30~17:00	ステップアップ研修 I・II 中学校受講者
教科・領域別研	110	公開授業・研究会 授業者 南千里中学校 指導教諭 神崎 由紀	南千里中学校	2月16日(火) 14:30~17:00	教職員 ※中学校英語担当者会を兼ねる
専門職研修	124	「枚方市学校事務支援センターについて」 講師 枚方市学校事務支援センター 所長 岩谷 和美 先生	教育センター 第一会議室 (2階)	2月26日(金) 15:30~17:00	小・中学校事務職員
	126	「栄養教諭実習生への指導にあたって」 講師 千里金蘭大学 教授 幸林 友男 先生	教育センター 第一会議室 (2階)	2月23日(火) 15:00~17:00	小・中学校栄養教職員
情報教育研修	332	「ICT機器を活用した公開授業②」 授業者 西山田小学校 教諭 藤原 健一 助言者 関西大学 教授 黒上 晴夫 先生	西山田小学校	2月18日(木) 14:30~17:00	教職員 ※情報教育推進委員会を兼ねる
	352	「SATSUKIネットLAN接続とセキュリティ」 講師 日立ソリューションズ・クリエイト	教育センター 情報科学室 (2階)	2月26日(金) 15:30~17:00	教職員

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付する実施要項をご覧ください。



教育研究報告会で忘れ物がありました

- ・タオル(白地に茶 スヌーピーの柄)
- ・傘(ANNA CRISTINAのロゴ入り)
- ・クリアファイル(千里金蘭のロゴ入り)
- ・赤インクのボールペン(本体は黒のノック式)

お心当たりのある方は教育センター(6388-1455)までお問い合わせください

